

# 生活クラブの 福祉・たすけあい 8原則

誰もが当事者として自己決定にもとづいて生きるしきみを積み重ねてきたことが生活クラブの誇るべき特長です。

この強みを各地の生活クラブ、運動グループ、提携生産者が共有し、その地域に必要な機能を描き、

「福祉の自給ネットワークづくり」をめざして、「生活クラブの福祉・たすけあい8原則」を定めます。

## 1 多様性

一人ひとりがちがいを認めあいながら、  
対等につながり、よろこびを  
分かち合える社会をめざします。

社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）、  
性差や年齢、特徴にかかわらず、誰もが潜在能力を  
発揮でき、出番をもってつながりあう社会をめざし、  
サステナブル（持続可能性）に取り組みます。



## 2 尊厳の尊重

生まれた時から最期の一日前まで、  
誰もがその人らしく安心して暮らせる  
地域をつくります。

その人がどういう暮らしを望んでいるのか、  
この先の人生をどう過ごしていきたいのか、  
それをよく理解して、大切にしたい。学び、住まい、  
居場所がある安心の地域づくりをすすめます。

住みなれた地域で最期まで自分らしく生きるために。



## 3 参加型社会

子育て、介護、社会的孤立を地域全体の  
課題と考え、お互いにたすけあう  
参加型のしきみをつくります。

コミュニティ中心の参加型社会は、人びとが、  
自分たち自身の誇りをもって生きる基盤に  
つながります。共済や寄付も、  
お金に託して参加するたすけあいです。



## 4

## 働きがいのある 人間らしい仕事



生活と仕事が調和し、社会を豊かにする  
多様な働き方・働く場をつくります。

安心して一生暮らしていく、働きがい、  
やりがいを見いだせ、自らの知識、能力、  
技能が伸ばせる仕事「ディーセントワーク」をめざします。  
だれもが仕事にアプローチできるしきみをつくります。



## 5

## 居場所づくり・ 役割づくり



あらゆる人が、心おだやかに楽しく過ごせる  
居場所づくり・役割づくりをすすめます。

地域や近隣の人との接点をもつことで“ふれあい”が生まれます。  
誰もが抱く願いは、元気で生きがいを持ち、  
住みなれた地域で、自分らしく暮らすことです。  
何度も再チャレンジできる社会づくりをめざします。



## 6

## 子育て支援

子どもが笑顔で暮らせるように、地域全体で、  
子ども支援・親支援に取り組みます。

子どもは生まれてくる環境を選べません。  
子どもたちが心身ともにすこやかに育つ社会、  
安心して子どもを生み育てることができる  
社会にしたい。



## 7

## 介護支援

介護する人・受ける人がどちらも、  
安心して毎日を過ごせるようサポートします。

介護生活、それは長い道だから…  
悩みを話し合い、人生最期の日まで尊厳を  
もてるようなケアをめざします。



## 8

## 社会的孤立 への支援

貧困と孤立を見過ごさず、寄り添い、  
伴走することで自立を後押しします。

人は生きていると、いろいろな困ったことに  
出会います。みんなでたすけあうことで、  
社会的孤立から抜け出せます。

